

# 地域を支える多職種連携のちから ～10年後のつがるをみすえ～ 薬剤師にできること

弘前薬剤師会 在宅医療推進委員会 委員長  
 フアルマ 藤代薬局 薬局長  
 相馬 渉

## 在宅療養における薬剤師の役割

薬剤師が関与し、患者にきちんと服薬していただくことにより患者の病状、ADL、そしてQOLを改善または維持する。

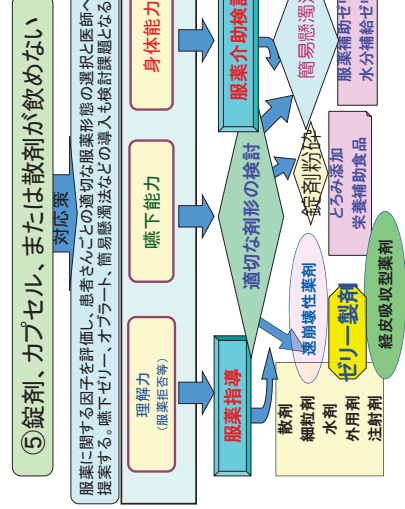
そのために行うこと

- 【1】服薬状況が悪い場合、その理由を探り、改善のための対策を行う。(服薬支援)
- 【2】薬が患者さんの病状、ADL、そしてQOLに悪い影響を与えていないかアセスメントする。

※各論にて解説

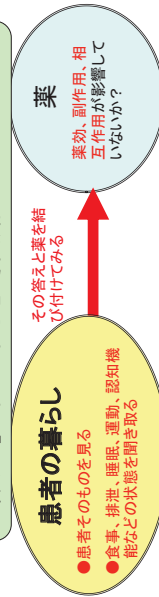
### 【1】服薬状況が悪い場合、その理由を探り、改善のための対策を行う。(服薬支援)

飲まない(飲めない)理由	対応策
①薬の量理がつかなくなったため、飲めない。	高薬や併用薬を、重さや相互作用、併用禁忌などに留意しながら整理する。
②何の薬か理解していないため、飲まない。	薬箱を整理できるまで説明。および、その理解を助けるための服薬支援をする。
③薬の副作用が怖いため、飲まない	副作用について、恐怖心をとりつつ対応策を話し合い、納得して服薬できるようにする。
④特に体調が悪くないため、飲まない。(自己認識)	基本的な病状や薬性を再度説明し、副作用量を理解してもらう。
⑤錠剤、カプセル、または散剤が飲めない。	患者ごとの適切な服用形態の選択と医師への提案、嚥下ゼリー、オプラー、簡易懸濁法などの導入提案。

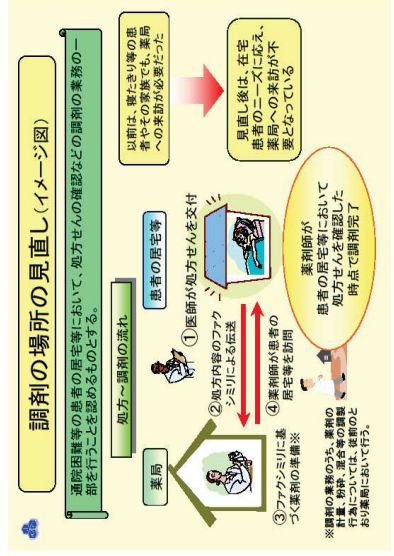


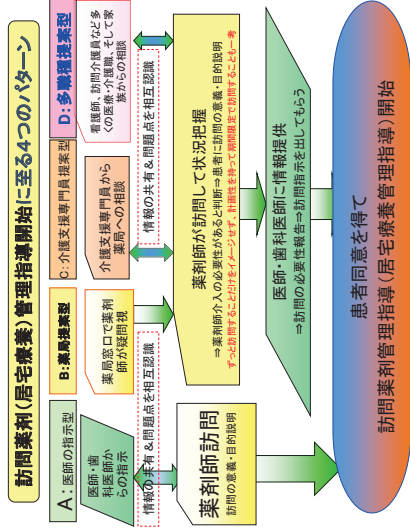
専門山上病院診療協力部長 買野高子氏作成を一部改変

### 在宅や他職種との連携で求められる思考回路 「暮らし」が先に来る思考回路



日常の暮らしの言葉から、  
 ①患者の暮らしの質 (QOL) が守られているか  
 ②薬の副作用などで暮らしが悪影響を受けていないかを確認する。  
 また、薬以外にも様々な課題があると判明したときは、他職種と連携を図り課題に対して取り組んでみる。





**薬剤師が関わる在宅医療**

- ご自身・ご家族まで**  
薬剤師が在宅まで訪問してご自宅やご自宅までの健康へお役立ちします。
- 飲み合わせ、副作用のチェック**  
複数の処方薬で処方されたお薬の薬性や副作用、飲み合わせ、副作用の有無を確認し、副作用の予防や対応を行います。また、飲み合わせや副作用の予防、副作用の軽減に役立ちます。
- 薬剤師の調剤と工夫**  
お薬の調剤や処方箋の作成、お薬の包装、お薬の保管、お薬の管理などを行います。また、お薬の調剤や処方箋の作成、お薬の包装、お薬の保管、お薬の管理などを行います。
- サポーターします**  
薬剤師が在宅まで訪問してご自宅やご自宅までの健康へお役立ちします。

**薬剤師がご自宅へお伺いします!**

薬剤師は、地域の医療・介護の専門家とチームを組んで在宅医療に貢献しています。

薬剤師がご自宅へお伺いします!

- お薬の調剤や処方箋の作成
- お薬の包装や保管
- お薬の管理
- お薬の相談
- お薬の指導
- お薬の相談
- お薬の指導

## 薬のプロとして、医療人としての責任を果たす

- 訪問薬剤管理指導を通し、薬剤師の視点で多職種への情報提供を行い、連携を図っていくこと。
- 責任を持って薬の供給を行う  
(患者さんを取り巻く医薬品、衛生材料等)
- 患者個々の状況に応じた副作用のチェック
- 使用済み、未使用の薬剤の回収、適切な廃棄
- 傾聴ボランティア

## 健康介護まちかど相談薬局

- まちかどセルフチェックの実施
- 脳の健康チェックリスト
- 血圧測定事業
- ゲートキーパー



## 課題

- 薬剤師の在宅医療の認知度が低いので、多種多様な研修会などで**職能アピールが必要**
- 青森県在宅医療支援センター薬局設置事業  
サブセンター薬局(弘前市薬剤師薬局)を中心に体制整備すること(薬剤師会として)
- **かかりつけ薬局、薬剤師**をもちましよう